

舞鶴から希望の京都をつくろう！ ～地域力の創造と市民の幸せを目指す～

京都府議会議員

池田まさよし通信

発行：池田まさよし事務所
【第6号】

〒624-0853 舞鶴市南田辺71番地1 TEL:0773-77-1722 FAX:0773-77-1723 <http://www.ikedakai.net>

今年は何年より一足早く、桜の花も咲き誇り、春の訪れが待ち遠しい季節となってきました。

平成二十五年二月定例会が開催され、京都府の平成二十四年度の一般会計補正予算は四百七十九億四千五百万円、平成二十五年年度の一般会計当初予算額は、前年度比100.7%となる九千六億三千七百万円となり、今回の補正予算を合わせると九千四百八十五億八千二百万円と前年度当初予算比106.0%となります。また、平成二十五年度特別会計の当初予算は、総額三千三百四十四億五千三百万円、公営企業会計の予算は、総額百三十六億千八百万円、すべてを合わせると一兆二千四百八十七億八百万円の子算であります。すなわち、今回の予算は日本経済の再生を掲げた国の経済対策を活用した補正予算と平成二十五年度当初予算の同時編成により、切れ目のない十四か月予算編成であります。

内容の主なもの、京都北部の振興にかかせない道路・鉄道網の整備では、京都縦貫自動車道の平成二十六年度末にむけた着実な整



京都府議会議員
池田正義



2月22日 和装文化振興のための「きもの議会」に於いて

備を進めること。

京都舞鶴港については、バラ積み貨物の上屋を国際埠頭に移転新築し、国際物流機能を強化すること。

また、府民公募型整備事業は、通学路の安全対策を含め、多くの府民提案を受けたこともあり、「地域の元気臨時交付金」を活用して、総額五十億円と大幅に増額されており、「美しい京都づくり」を進めるため、修景整備を対象に加え、地域経済浮揚が期待されます。

「京都力の発揮」は、地域づくりの推進として、「海の京都」があります。京都北部地域は、天橋立やジオパークなど豊かな自然環境や、

電気自動車(EV)の開発販売を行うグリーンロードモータース(GLM)はEVスポーツカー「トミーカイラZZ」の量産を舞鶴市の小阪金属(株)で開始

地元小阪金属さんで作られます

海産物から野菜・果実など食にめぐまれ、観光面でのポテンシャルは高いものがあります。先にのべた京都縦貫自動車道の全線開通や舞鶴若狭自動車道の全線開通を二年后に控え、北部地域に多くのお客様を迎える基盤が整いつつあるだけに、こうした基盤整備に併せて、新年度から「海の京都」を統一コンセプトに掲げた観光プロモーションを展開し、重点地区を設定した修景整備への支援など、ソフト・ハードの両面から集中投資することの「海の京都」事業費六億千六百万円が予算化されたところであります。

今後とも、舞鶴から希望の京都づくりに邁進していきますので、何卒よろしくお願いたします。

2013
1月-3月

活動報告



安倍晋三首相とともに



1月16日 府警年頭視閲式に出席



1月30日 海上自衛隊掃海艦 見送り



2月5日 谷地横一法務大臣とともに



1月1日 西地区 新年互礼会にて多々見市長と



1月20日 岡山県警 視察



2月5日 国交省へ要望活動



2月9日 「早春の集い」にて府政報告



2月13日 ミルク工房 そらを視察



2月27日 移転医療について勉強会



1月13日 成人式「赤れんがパーク」にて



1月21日 福岡県警 視察



2月5日 伊次文明衆議院議長とともに



2月12日 管内調査(海洋センターにて)



2月19日 舞鶴ロータリークラブへ府政報告



3月22日 鉄道整備について検討会

池田まさよし事務所 ご案内

西事務所 (舞鶴市南田辺71番地1)



池田まさよし
新事務所

TEL(0773)77-1722 FAX(0773)77-1723
オープン時間 10:00~16:00 m.ikeda@kyotofugikai.jp

西舞鶴駅より徒歩3分です。京都北部信用金庫舞鶴中央支店、国道27号線をはさんで向かいます。駐車場は事務所前または西舞鶴市営駐車場をご利用下さい。

いつでもお気軽にお立ち寄り下さい。市民の皆様からのご意見・ご質問も受け付けております。

二月定例会 一般質問に立つ

「海の京都」で地域活性化と世界に開かれた観光ゾーンを目指す

【質問】 京都北部の観光振興を図るため、府では「海の京都」観光推進協議会を立ち上げ、自然や歴史を活かしながら滞在型観光を推進していく計画ですが、丹後・中丹地域の活性化を含め、「海の京都」を柱とした具体的な観光推進策についてお聞きします。併せて京都舞鶴港の役割について考えをお尋ねします。



【答え】 京都北部地域は、古来から海とつながり、海と関係の深い暮らしや文化を育んできました。しかしながら、観光の面では、府外の人には京都と海というのがあまりイメージとして結びついておらず、実際に舞鶴や天橋立が京都ということを知らない人も結構多いというのが実情です。それだけに、京都と海とを結びつけたキャッチコピーが欲しいと思います。「海の京都」というコンセプトを打ち出しました。これにより、京都という観光に非常に強いイメージとともに山陰ジオパークや、日本三景天橋立、さらには様々な海産物、こうしたものを活かすようアピールが出来るのではないかと考えています。

特に、平成二十六年には京都縦貫自動車道がいよいよ全線開通し府の南北の縦貫道が完成するとともに、日本海側拠点港として指定された京都舞鶴港の整備も整ってきますので、人どもの流れが大きく変化する時です。これを捉えて、北部地域観光の重点投資

をして北部観光振興に繋げたいというのが「海の京都」の一番大きな狙いです。



水産業の振興で収益性の高い経営を！

【質問】 地球温暖化等による魚種の変化水産資源の減少、また魚価の低迷、燃料や資材の高騰により、漁業経営は年々厳しさを増している現状ですが、舞鶴市の基幹漁業である定置網漁業や底引き網漁業、かきやとり貝の養殖を支えていく為の支援策についてお聞かせください。

【答え】 基幹漁業の定置網や底引き網の経営、販売への支援としては、国の

補助事業を活用して漁船や漁網の更新をするとともに、実践研修で業者確保を図り、生産力を高めます。また、不漁時の損失補てんする資源管理・所得補償制度への加入を促進するとともに、府漁協などが出荷をします「朝獲れ直行便」、これなどの取組みを支援することによりまして、高速道路網を活用して獲れたての魚を府南部へ出荷するというところで、収益性の高い漁業経営に繋げていきます。



二枚貝の品質や生産規模の確保への支援については、「丹後とり貝」の養殖の歩留まりを二倍に高める技術開発を行い、生産拡大と収益性の向上を図ります。また、天然採苗技術が確立されたイワガキ養殖については、種苗増産により生産拡大を図るとともに、身の大きさを自動判別できる機器を製作し、品質保証技術を開発することによりブランド化を進めます。

【質問】 舞鶴市の漁港や湾内の船溜施設の基盤整備、製氷・貯氷施設などについては一部を除き、ほぼ整備が完了したところですが、今般の消防法の改正に伴い、給油施設の改修が必要となつていきます。その改修支援についてお伺いします。

【答え】 燃料タンク等の共同利用施設の補修や改修については、本年二月以降稼働年数の長い地下式燃料タンクでは、油流出事故の防止対策を講じる必要があり、府内では、今後十二漁港の十九基が改修対象となります。これらを含め、老朽化した共同利用施設を国庫補助事業で改修、更新できるよう指導いたしますとともに、緊急対応が必要な施設には、府単独補助事業で支援します。



【質問】 大浦地区海岸には冬季の波浪や台風の影響で大量の漂着物が打ち上げられています。これまで地元漁業者や区民連携で収集・処分を行ってきましたが、今後の漂着ゴミ処理支援についてお尋ねします。

【答え】 海岸漂着物対策についてですが、京都府の海岸のうち漁港海岸は約四分の一を占めています。平成二十五年からは、舞鶴市大浦地区を始めとする漁港海岸のうち、「海岸漂着物対策推進計画」で設定された重点区域については、海岸管理者である府、

白鳥トンネル早期のオープンカットを！

【質問】 先般の質問でも、白鳥トンネルの四車線化について伺いましたが、政権も交代し国土強靱化の方針が示された今、大変危険な白鳥トンネルは高校生の通学の安全を第一に考え、早期にオープンカットにより四車線化をすべきと考えますが、その後の検討状況を伺います。

【答え】 府道小倉西舞鶴線白鳥トンネルについてであります。車道幅員が狭く、歩道が無いので、大型車のすれ違いが困難であること、歩行者と自転車の通行が危険なこと、さらに、建設後六十年以上を経過して老朽化していることなどの課題があります。これらの課題への対策を検討するため、昨年八月に中丹東土木事務所と舞鶴市の共同検討会を設置し、これまで四回開催し、その結果、四車線のバイパストンネルを造るのではなく、①自転車歩行者道を有する二車線のバイパストンネルを造り、現在のトンネルも補

強、②4車線の道路をオープンカットで山を切り崩して造る方策、③現在のトンネルを拡張、四車線を確保する方策の大きく三つの方策に整理されています。今後、これらの各方針につきまして、コスト、工事に要する期間、現道の交通に与える影響など、長所と短所を明確にして、より詳細な検討を進めます。



白鳥トンネル